

東京2020オリンピック インドホッケーチームキャンプ誘致断念について

平成29年のホストタウン登録を受け、インドホッケーチームの事前キャンプ誘致を目指し取り組みを進めてきましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により、東京2020オリンピックが延期され、キャンプ誘致の目途が立たない状況となりました。

奥出雲町としては、インドホッケーチームとホッケーを通して町民との交流を図ることを目指し、東京2020オリンピック事前事後を含め、キャンプ誘致が可能となるよう検討を行ってまいりました。

国から選手等受入れにおいて新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルの作成の手引きが示されましたが、選手と選手以外の方との接触を回避するため、移動、宿泊、食事、練習環境等についての対応が求められており、人的、施設的に加え費用的にも自治体にとって厳しい状況であります。

また、町として目的としていたホッケーを通して町民、特に学生と触れ合う交流の実現が困難な状況となるとともに、選手の方の入国に関して制限が設けられる中で地理的に東京から遠い奥出雲町へ誘致することは、行程的にも選手の方々にとって大きな負担となることが予想されます。更に、ワクチン接種が始まったとはいえ新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せず、オリンピック開催が迫っても奥出雲町として十分な受け入れ体制を整えることができないことから、誠に残念ですが、東京2020オリンピックに向けてのインドホッケーチームキャンプ誘致は断念する決断をしました。

キャンプ誘致は叶いませんでしたが、これまで築いてきたインドチームとの関係は大切にしていきたいと考えており、今後も奥出雲町とインドとの間でホッケーを通じた交流ができればと願っています。

これまでの間、インドホッケー協会をはじめ、多くの方にご尽力をいただき心よりお礼を申し上げます。

令和3年3月2日

奥出雲町長 勝田 康則